

『世のために尽くさん』 一人一人が輝いて『Colors』

三年間ありがとうございました。

卒業生一同精進を続けていきます。崇高な使命を実現できるような人間になれるよう、卒業生一同精進を続けていきます。

今、世界は混沌としています。困難に直面することもありますが、勇気を持って自分の意見を述べることも必要です。自分の信念に基づき世のために尽くしてまいります。

私達卒業生は、進路志望達成に向けて努力しました。その努力は大きな財産になりました。先生方・家族・後輩達・仲間達がいればこそできたことです。また、この三年間の経験から、心の痛みも共感的にわかりあえる素地を作ることができました。

将来は、物事の真價を見抜き、他の人の事も考えながら、勇気を持って自分の意見を述べることも必要です。自分の信念に基づき世のために尽くしてまいります。

在校生のみなさん、確かな目標を持って励んでいる人は大いに頑張ってください。まだ目標が決まっていない人は、自分が一生懸命取り組める何かを一つも見つけてください。

私達卒業生は、進路志望達成に向けて努力しました。その努力は大きな財産になりました。先生方・家族・後輩達・仲間達がいればこそできたことです。また、この三年間の経験から、心の痛みも共感的にわかりあえる素地を作ることができました。



門出の言葉

卒業生代表 色摩伸平

(米沢六中出身)

短い三年間ではありましたが、先生方や先輩方の真の優しさや情熱を知り、新しい仲間との絆を深めていくことで、興讓館生としての生活が喜びになりました。

部活動・中子園予選・体育祭・合唱コンクールなど、団結力で挑みました。興讓祭も一致団結して取り組んだ結果、私達ならではの興讓祭を創ることができました。

私達の学年は、強力な個性を持つ人達が一つになって盛り上げられる学年で、それが魅力であり強みでした。そんな時に自治会長を務めさせて頂いて、私は本当に幸せです。

在校生のみなさん、確かな目標を持って励んでいる人は大いに頑張ってください。まだ目標が決まっていない人は、自分が一生懸命取り組める何かを一つも見つけてください。

私達卒業生は、進路志望達成に向けて努力しました。その努力は大きな財産になりました。先生方・家族・後輩達・仲間達がいればこそできたことです。また、この三年間の経験から、心の痛みも共感的にわかりあえる素地を作ることができました。

将来は、物事の真價を見抜き、他の人の事も考えながら、勇気を持って自分の意見を述べることも必要です。自分の信念に基づき世のために尽くしてまいります。

今、世界は混沌としています。困難に直面することもありますが、勇気を持って自分の意見を述べることも必要です。自分の信念に基づき世のために尽くしてまいります。

卒業生一同精進を続けていきます。崇高な使命を実現できるような人間になれるよう、卒業生一同精進を続けていきます。

三年間ありがとうございました。



平成26年3月24日発行
第29号
山形県立
米沢興讓館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

餞の言葉

在校生代表 小林千紗

(高島一中出身)

先輩方は、部活動や行事だけでなく、学習にも力を入れ、文武両道を見事に確立していました。自分の進むべき未来をしっかりと見据え、自分の夢を必ず叶えようという強い意志を私たちに感じさせました。私たちが在校生は、そのような先輩方の姿を見、先輩たちを応援するとともに、私たちがも来年には先輩方のようになろうと決意を新たにしました。これから先輩方は新たな世界へ大きな一歩を踏み出すこととなります。この三年間で培われた「一人ひとりの命をあげ、我が力、我が誠、世の為に尽くさん」という「興讓の精神」は、必ず困難な道を切り開く先輩方の支えとなり指針となることでしょう。そしてそのような時こそ、苦楽をともし、切磋した仲間、そして興讓館で過ごした日々を思い出し、その壁を乗り越えてください。その先には必ず「栄光への道」が続いているはずですよ。

私たちが在校生は、先輩方が受け継ぎ守ってきた「興讓の精神」を後世に伝えていく義務があります。米沢興讓館高校の栄えある歴史と伝統、そしてこの「興讓の精神」をいつまでも後世に伝えることをここに誓います。

最後になりますが、先輩方がそれぞれの夢を実現し、さらなる活躍をなさることを祈念し、はなむけの言葉といたします。





新野健太郎
(米沢七中出身)

3年生がセンター試験の自己採点を終えた翌日、予餞会が行われました。予餞会は二次試験を控えた3年生へ、応援と感謝の意味をこめ、1・2年生が各クラス様々な出し物をする伝統行事です。今年は映像やダンス、劇など趣向を凝らしたパフォーマンスが発表され、どのクラスも短い期間ではありましたが、5分間の発表時間の中、質の高い物に仕上がっていました。これらの準備を通し、1、2年生にとっても何かしら得られたものがあったのではないのでしょうか。3年生の皆さんにも、私たちの応援と、一時の休息として発表を楽しんでいただけたと思います。



全国3大会に出場して

高橋 昂士 (米沢一中出身)

興譲館に進学して初めてのシーズンが終わりました。インターハイや選抜大会、そして、地元やまがた樹氷国体と大きな大会に出場させていただき、たくさんの経験を積むことができました。北海道や長野県の強い選手にはまだ力及ばず、一層の努力が必要だと感じたところです。

来シーズンに向け、夏のトレーニングで自分を追い込み、一番からだの動く状態でシーズンインできるよう、トレーニング・調整していきます。

また、大きな負担をかけている家族、多くのご支援をいただいているOBの方々に恩返しできるように、インターハイ等での入賞を目指し頑張るので、応援よろしくをお願いします。

戦 績	
平成25年度山形県高等学校総合体育大会・第65回山形県高等学校スキー大会	平成25年度全国高等学校総合体育大会・第63回全国高等学校スキー大会
スペシャルジャンプ 2位	スペシャルジャンプ 38位
ノルディックコンバインド 3位	ノルディックコンバインド 34位
第85回山形県スキー選手権大会(含一般)	第26回全国高等学校選抜スキー大会(ノルディック種目)
スペシャルジャンプ 3位	スペシャルジャンプ 29位
ノルディックコンバインド 5位	第69回国民体育大会山形県予選会・少年
第69回国民体育大会山形県予選会・少年	第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会(やまがた樹氷国体)
スペシャルジャンプ 2位	スペシャルジャンプ 18位
ノルディックコンバインド 3位	ノルディックコンバインド 26位

部活動の記録

スキー部

山形県高等学校総合体育大会・第65回山形県高等学校スキー大会
個人女子2名各2種目入賞→東北高校スキー選手権大会出場

吹奏楽研究クラブ

全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 打楽器5重奏 銀賞
木管8重奏 銀賞

新聞・文芸部

第12回山形県高校文芸コンクール文芸部誌部門 佳作
第35回山形県高等学校新聞コンクール 優良賞

調理科学部

館山りんごスイーツコンテスト 特別賞 奨励賞 プチパティシエ賞

音楽部

第24回山形声楽アンサンブルフェスティバル 講評者特別賞

JICA

国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 学校賞

平成26年度 第64回全国高等学校 スピードスケート競技選手権大会

大会スローガン採用作品

佐々木 慧(赤湯中出身)

「集え 山形の地に 氷上を駆ける 若き風」

この作品は、来年度の全国大会ポスター等で使用されます。

第三十六回 上杉雪灯籠祭り

雪灯籠を製作して

飛塚 咲季(米沢五中出身)

今回、私は陸上部として参加し、雪灯籠1基を製作しました。雪が足りなく当初より数が減ってしまいましたが、みんなで素晴らしいものを作ることが出来たと思います。私たちはトーフ作りと本製作に分担し、本製作では、まずトーフに型を合わせてチョークで印をつけました。これが結構寒くて手がかじかんで冷たかったです。次に印に合わせてのこぎりやスコップなどで雪を削っていきます。地道な作業で大変だったけど、次第に形になってくると達成感が得られました。初めて雪灯籠を製作しましたが、思ったよりきれいな形にするのが難しく、いつもは見ている側なので実際に作ってみて雪灯籠のよさがわかった気がします。



保護者からのエール

もっともっと、志高く

二年保護者 壺岡とく子さん

私は、大学名や職業については、とんと疎いのですが、興譲館生の志高い夢や目標の話を聞くことが楽しみです。
医師、理学療法士、弁護士、研究者、大学教授など、私が高校生だった頃には、到底思い描く事なかつたような志高い夢や目標を、普通に目指して挑戦できる環境は、興譲館ならではの校風や先生方のお力添え、そして、一緒に目標に向かう仲間のおかげです。
先日は、クラスで親子食事があり、心豊かに生き生きと目標に向かう素直な子供たちの様子を、垣間見ることができました。興譲の精神を、もっともっと社会に羽ばたかせてください。ノーベル賞受賞者にも、総理大臣にもなれそうな気がします。
夢多きあなたたちへ、私たち保護者は、期待とエールを送ります。

スキー授業



SSH台湾海外研修～はばだけ！世界へ！～

SSH台湾海外研修予定概要

月日	実施内容
3/3(月)	移動
3/4(火)	国立清華大学研修 海外の大学院生との英語によるランチミーティング サイエンスパーク(科遊館)研修 ITRI(工業技術研究院)研修
3/5(水)	国立台湾師範大学附属高級中学研修 同世代間での英語によるランチミーティング 国立台湾大学研修
3/6(木)	移動



師範大附属高級中学での英語の合同授業

国立清華大学にて、現地の大学院生と記念撮影



SSH台湾海外研修を終えて

奥山 雄基 (米沢四中出身)

本校初の海外研修を無事終えることができました。盛り沢山の内容でしたが、特に印象的だったことを三つ挙げます。

一つ目は国立清華大学です。私達は現地の大学院生と英語でコミュニケーションをとりました。また、大学の研究が台湾の科学技術向上に貢献していることを肌で感じることができました。

二つ目は工業技術院(ITRI)です。異分野融合とグローバル化を推進している研究内容の説明を英語で受けることで、国際的なつながりを実感し、視野を広くすることの大切さを学びました。

三つ目は師範大附属高級中学です。現地の高校生と英語による相互の研究発表と交流を行い、英語で話すことの大切さを再認識すると共に、積極的学びの重要性も体感しました。

今後これらのことを活かしていきたいです。

研究をした一年間を通して

鹿俣 顕典 (米沢二中出身)

今年度、私はSSH指定校の理数科としてヒグラシをテーマに課題研究をしてきました。この研究を進めるにあたり、先生方や仲間の協力が不可欠でした。本当にありがとございました。それと同時に、今年度で十年目となりましたが、まだまだ研究の進め方が分かっていないと痛感しました。

この研究を私は、東北地区SSH指定校生徒研究発表会、校内SSH生徒研究発表会、そしてSSH台湾海外研修中の英語での発表といった多くの機会をいただき発表させていただきました。その度に心臓が飛び出るほど緊張しましたが、校内発表では最優秀賞をいただき、過去九年にわたる研究経験・発表経験も役に立ったよううれしいです。もつとく進級、ついに受験生となりますが、可能ならば来年度もヒグラシの謎を解いていきたいです。

人々のエネルギーで、自分が学ぶ。成長する

東北地区SSH指定校発表会



SSH校内生徒研究発表会

SSH校内発表会を終えて

一年四組 吉田 実花 (米沢一中出身)

私の班「英語発音と科学」は、SSH校内生徒研究発表会のポスターセッションにおいて生徒賞を頂き、とても光栄に思っています。私達一年生にとっては初めての経験で大きな不安を抱えて臨みましたが、今まで学んだことを胸に聞いて下さっている方々に一年間学んだことを堂々と発表できたと思います。また、私たち英語発音と科学コースは計四人しかおらず、一班だけの発表でした。そのため、伝えたい思いもより強く、インパクトのあるポスターデザインにしたり、英語で発表する部分を加えたりするなど工夫したことが、今回の受賞につながったと思っています。今回の経験はこれから様々な場面で発揮する機会があると思うので、しっかり役立てていきたいです。